

## 北朝鮮核実験に係る環境放射線等モニタリングについて

本日、北朝鮮国内での核実験実施の覚知を受け、原子力規制庁から全都道府県に対し、環境放射線等モニタリング強化の協力依頼がありました。これを受け、本県では、環境放射線等の測定・監視体制を下記のとおり強化しました。

9月3日の14時現在、県内に設置している58局のモニタリングポスト等の空間放射線量率は、福島第一原子力発電所事故後における平常の値を示しており、特別な変化は認められていません。

また、空間放射線量率の測定結果は、「放射能情報サイトみやぎ」などによりリアルタイムで公開しておりますので、御覧いただけます。

※ 放射能情報サイトみやぎ URL : <http://www.r-info-miyagi.jp/r-info/>

なお、今後、放射線量等に特別な変化が認められた場合には改めてお知らせします。

### 記

#### 1 モニタリングポストによる空間放射線量率調査

モニタリングポスト45局（県内全市町村に設置）及びモニタリングステーション13局（女川町及び石巻市に設置）において、平常時から行っている空間放射線量率の連続測定による監視を継続するとともに、特別な変化が認められた場合には直ちに広報するなどの連絡体制を強化しました。

#### 2 ゲルマニウム半導体検出器を用いた核種分析

宮城県環境放射線監視センター（仙台市宮城野区幸町4丁目7番1-2号）において、次の項目に関する監視を強化しました。

##### （1）降下物

降下物採取容器で採取を開始し、当面24時間毎に採取・回収・核種分析を継続して実施します。（通常時は月1回測定）

##### （2）大気浮遊じん

ハイボリュームダストサンプラー（浮遊じん採取装置）で採取を開始し、当面24時間毎に採取・回収・核種分析を継続して実施します。（通常時は四半期ごとに測定）

※全国都道府県のモニタリング結果は原子力規制庁が取りまとめて公表予定

※本日午後3時30分から開催される危機管理連絡会議でも、同じ資料を配布しております。